

村営コミュニティバスを活用した貨客混載の取組み カリコボーズの「ホイホイ便」事業について

宮崎県西米良村
西米良村長 黒木竜二

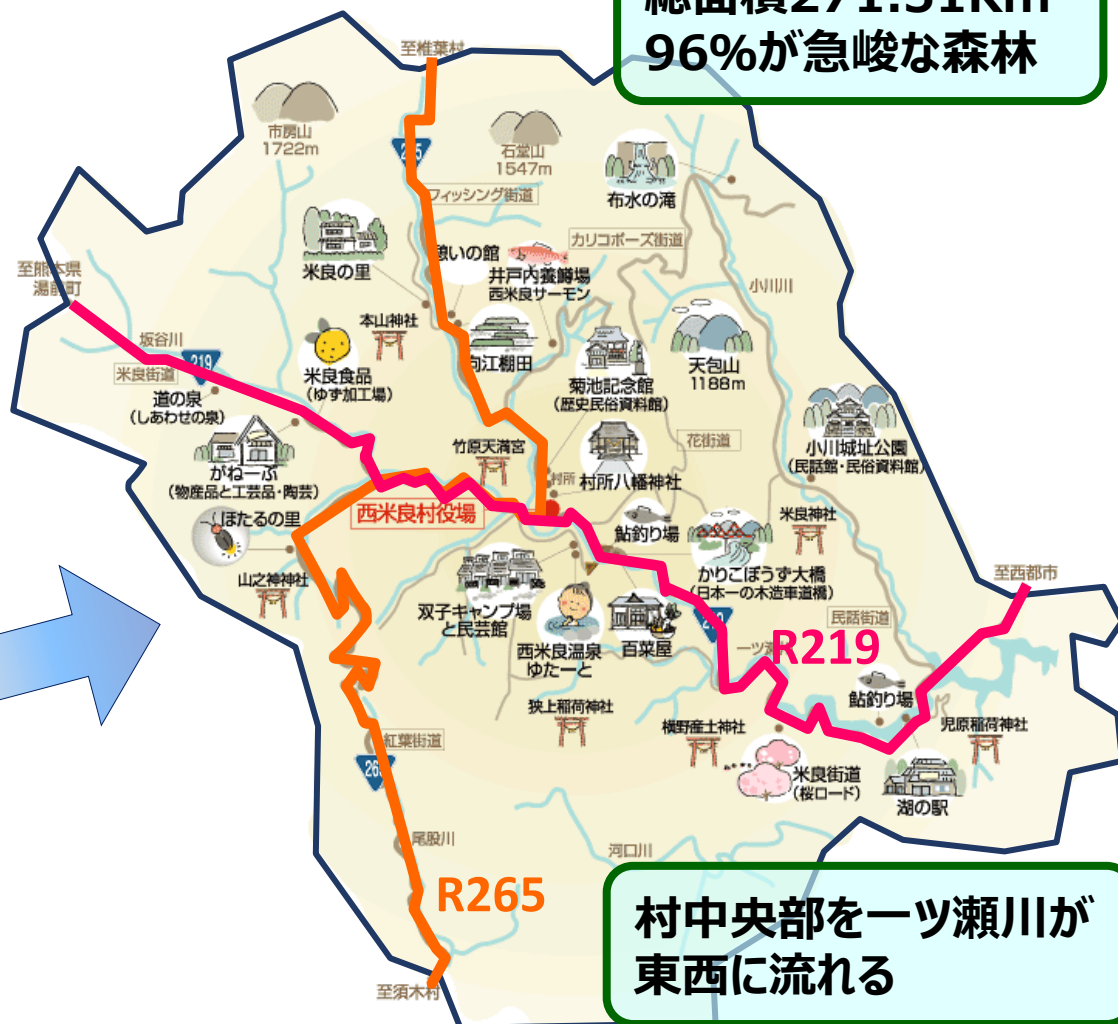
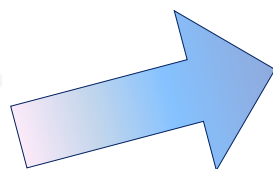
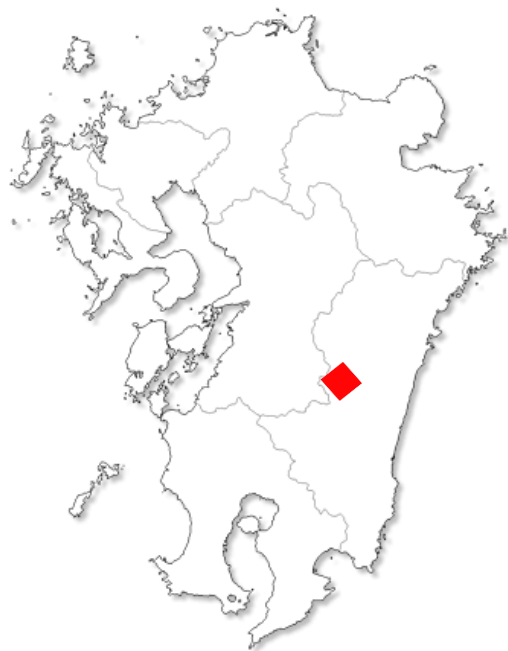


西米良村マスコットキャラクターの「ホイホイ君」



西米良村の位置

宮崎県中央西部
九州中央山地
降水量が多い
夏季冷涼
昼夜の高い温度差



総面積271.51Km²
96%が急峻な森林

村中央部を一ツ瀬川が
東西に流れる



西米良村の概要

沿革	明治22年5月1日 村制施行 * 旧米良領のうち「東米良」地区は近隣市に合併
人口	992人(男性507人 女性485人) ※R7.6.1現在
世帯数	528世帯
高齢化率	41.53%(65歳以上412人)
行政区	8地区

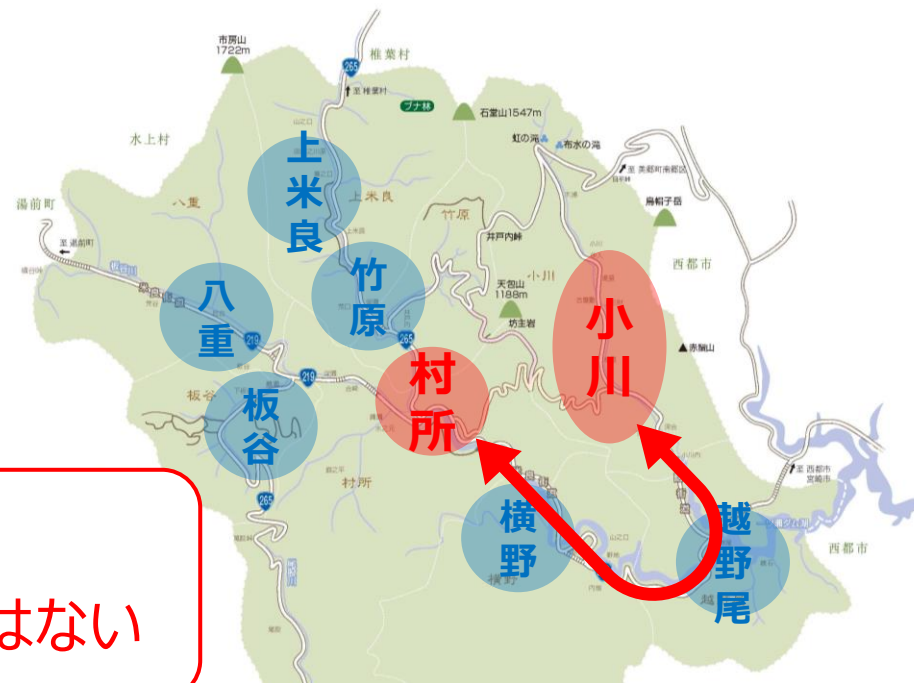




小川地区の概要

- 人口 60人 (R7.6.1)
- 世帯数 40世帯
- 高齢化率 58.33%
- 村中心部から約21km
- 移動時間 約30分

- 各宅配事業者は少量でも配達
- 村営バス乗客は満席になることはない





カリコボーズのホイホイ便事業の概要

○村営のコミュニティバスを活用した貨客混載（2020年3月開始）
（拠点間：村所驛～おがわ作小屋村）

○村内便の荷物のほか、日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便の荷物
も共同輸送・配達

※村内便とは、運送事業者を介さない、村内で発送・受領が完結する荷物（観光施設への土産品など）

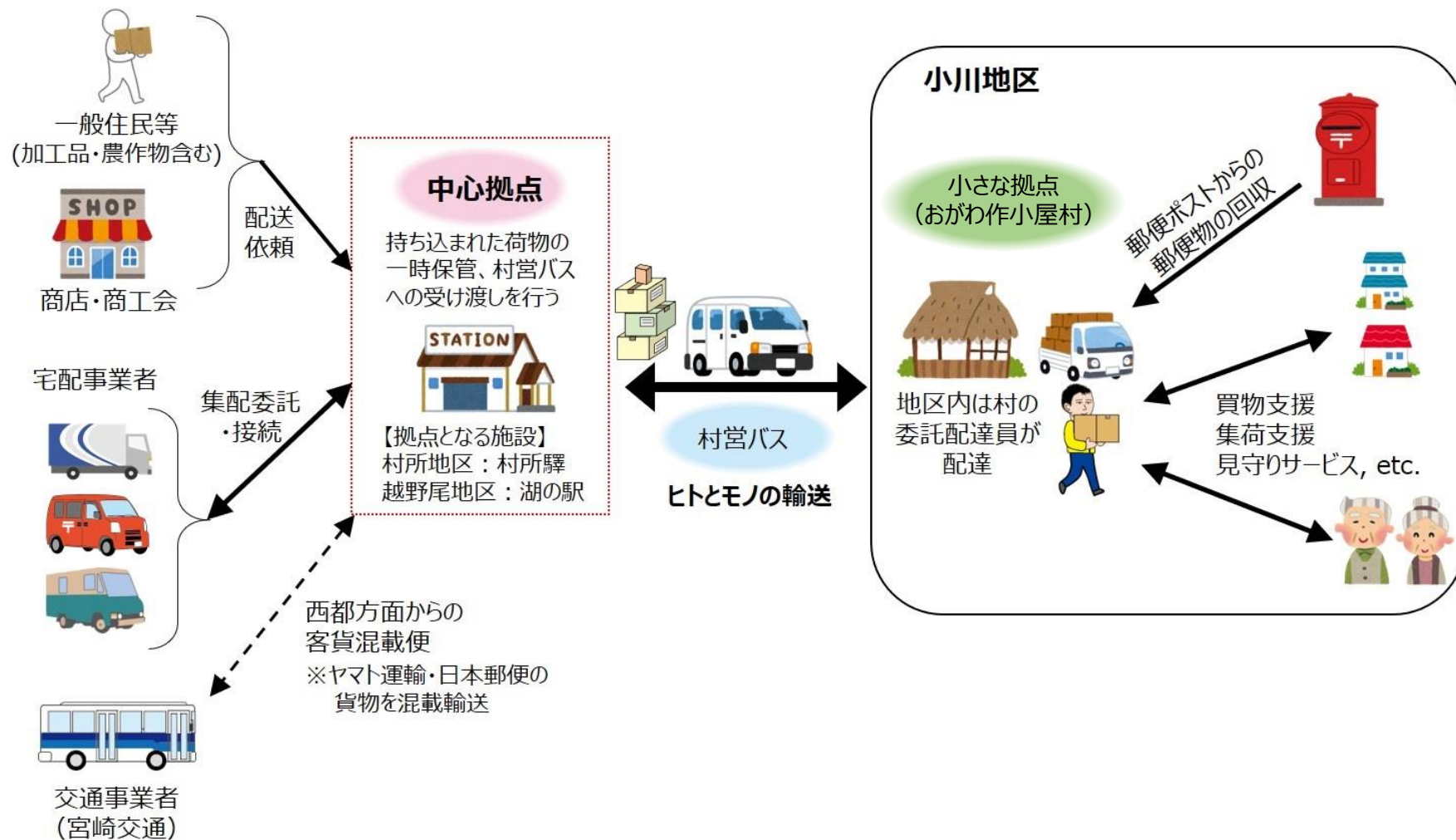
○上記の荷物で、小川地区に配送するものを取り扱う

○小川地区の拠点（おがわ作小屋村）からは、専用の配達員が各
戸配達・集荷（高齢者の見守りを兼ねる）





ホイホイ便事業のイメージ





契約の形態と許可

日本郵便(株)

ヤマト運輸(株)

佐川急便(株)

業務委託
(配達・一部集荷)

西米良村

業務委託
(配達・一部集荷・高齢者見守り)

ホイホイ便配達員

村営バス

- 自家用有償旅客運送者登録（コミュニティバス）
⇒白ナンバー車両による旅客運送
- 少量貨物有償運送許可
⇒村営バスでの貨客混載

配達車両

- 軽貨物自動車運送業

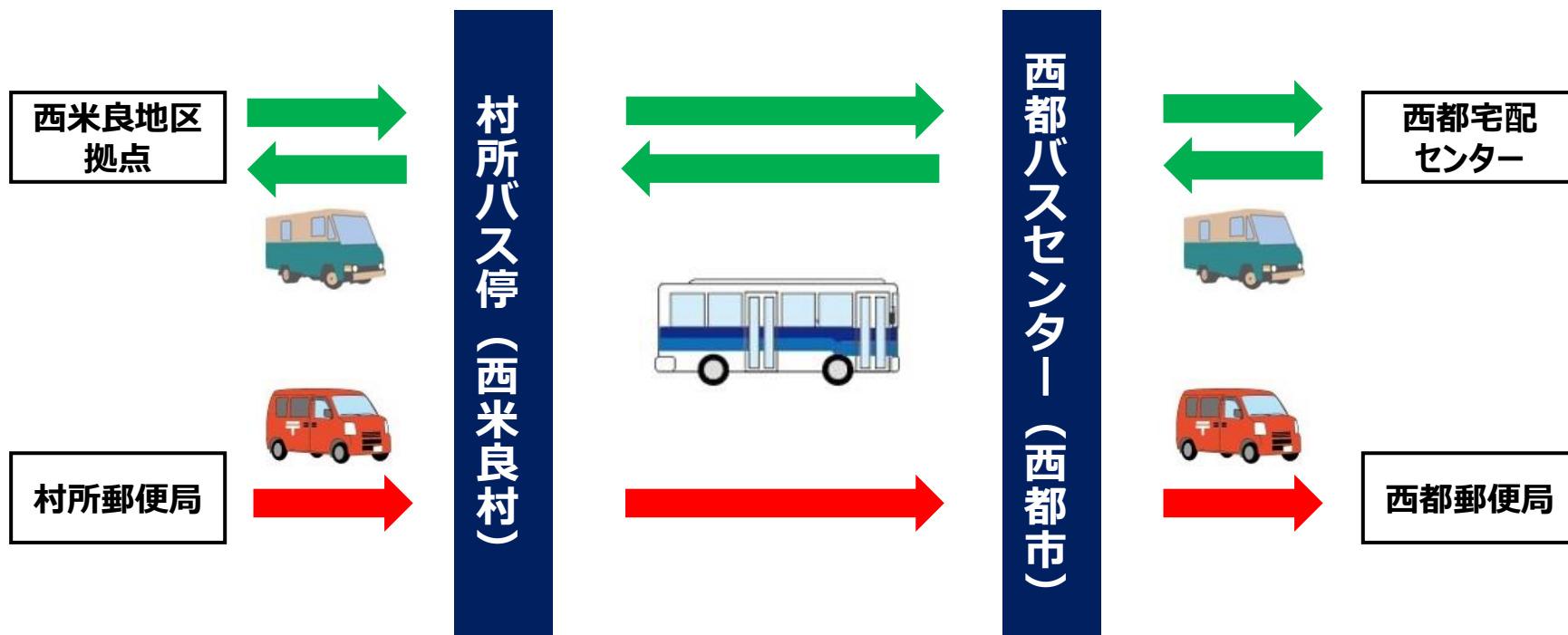


事業の経緯

H22年度 (2010)	貨客混載事業の可能性調査に着手（日本都市計画学会九州支部）
H27年度 (2015)	「地域を支える持続可能な物流ネットワークの構築に関するモデル事業」採択（国土交通省） ホイホイ便プロジェクト協議会の立ち上げ 村内便の集荷・配達による実証運行実施
H28年度 (2016)	「ネットワークで明日に繋ぐ！「宮崎ひなた生活圏」モデル構築事業」採択（宮崎県） 村内便に加え、宅配物・郵便物の試行的配達による実証運行実施
H30年度 (2018)	「地域公共交通生産性向上促進事業」採択（宮崎県） 日本郵便、ヤマト運輸の協力のもと実証運行実施
H31年度 (2019)	本格運行に向けた協議・検討（日本郵便、ヤマト運輸、佐川急便） 2020年3月より本格運行開始



路線バスを活用した貨客混載（宮崎交通）



- H27.10.1 宮崎交通とヤマト運輸でスタート
- H29.1.16 クール便対応可
- H30.2.20 日本郵便もスタート

西米良村（村所バス停）と西都市（西都バスセンター）間を走る宮崎交通の路線バスで、ヤマト運輸、日本郵便の荷物も輸送する。



貨客混載事業による効果

住 民

- 集荷時間延長による利便性の向上
- 買い物支援事業の実施（村内滞在時間延長による）
- 路線バス維持による生活基盤確保

バス事業者

- バス路線生産性の改善
- バス路線の維持

運送事業者

- 共同配送による効率化
- 走行距離削減（CO2排出削減）
- ドライバーの負担軽減



今後の課題

- 生活者の視点に立った物流の観点から、地方に人が住み続けるための条件整備・施策が必要
 - ・交通、物流の効率化に向けた規制緩和
 - ・配送地区の拡大
- 「人口減少・高齢化社会＝消費・物流の縮小」の中で、人の流れと物流システムをどのように維持していくか
 - ・ドライバー不足・負担軽減対策
 - ・西米良村までの配送手段（ミドルマイル）
 - ・各機関との調整が複雑